



第43代理事長
清水雅巳

- 副理事長
横田 文雄
表 真司
片倉 庸光
柳田 祐介
- 専務理事
榎田 守邦
- 事務局長
石井 真一
- Human Harmony室長
石内 昭男
- Community Innovation室長
小林 貴浩
- 輝きの扉委員長
高橋 勉
- Toi et Moi委員長
仲野 守
- 経済コミュニティ創造委員長
望月 昭夫
- 市民ムーブメント委員長
大澤 秀也
- 文化財パトロール隊長
原田 康二
- 尊氏公マラソン大会実行委員長
石井 大洋
- 監事
上武 敬和
早田 秀登

スローガン
**徳を以って己を高め
誇りある地域を後世へ導く**

○会員数 88名
○年会費 120,000円

2000年度は「徳を以て己を高め 誇りある地域を後世へ導く」が基本テーマとして掲げられた。足利JCは、1997年より中心市街地の再生に向けた対外活動を積極的に行ってきたが、その中で接する人々には様々な世界観やまちづくりに対する考え方があり、互いに共通の目標に向けた活動を行うためにはまず、自分たちが自らを律する強い意志の力を養っていかなければならない。という考えに清水理事長が到達したためである。

なお、ひと系の2委員会には会員拡大と組織の活力アップが託され、17名の新たな仲間の入会や情緒溢れる親睦事業が行われた。まち系の2委員会には新たな経済コミュニティの研究と1999年に足利JCが中心となって立ち上げたNPO法人足利まちづくりセンターVAN-NOOGAとの協働事業が求められ、研究結果の報告や「16万人まちづくりワークショップ」の開催など、結果を出すことができた。事務方は、創造的な運営と経費削減に取り組み、ハートフル会議の実施や大幅な固定費の削減を通して、安定した財政基盤の基礎づくりを行った。

また、第23回足利尊氏公マラソン大会、足利文化財パトロール隊、日本JC褒賞申請事業、三役特別事業など、当初掲げた基本方針に沿って大過なく活動が行われた。



足利JCの主な出来事

- ◆会員拡大例会「足利JCへの扉 ~めざせ100人の志士~」の開催
- ◆家族会「親と子の絆でいなせな夕涼み」の開催
- ◆足利尊氏公マラソン大会 (11月第1例会出席率100%達成) の開催
- ◆まちづくりセンターVAN-NOOGAとの共催による「16万人ワークショップ」の開催



足利市の主な出来事

- ◆市民から公募した市制80周年記念キャッチコピーが『新世紀 拓(ひろく)足利 夢・未来』に決まる
- ◆渡良瀬グリーンプラザが完成
- ◆高齢社会に向けて足利市ゴールドプラン21を策定
- ◆通学区域再編成により小学校8校(柳原、東、相生、大橋、助戸、千歳、三和、松田)を廃校し、新たに5校(けやき、青葉、東山、桜、坂西北)が誕生
- ◆介護保険制度がスタート
- ◆スプリングフィールド市との姉妹都市締結10周年を記念して、「スプリングフィールド市展」を開催

- ◆老人福祉センター東幸楽荘がオープン
- ◆全国都市緑化とちぎフェアふるさと花壇の部で足利市が最優秀賞を受賞
- ◆足利市スポーツ特別賞を創設



渡良瀬グリーンプラザが完成

この年の代表的なニュース

- ◆小淵首相が緊急入院・死去
- ◆五輪女子マラソンで「金」
- ◆初の南北会談、金大中氏にノーベル平和賞
- ◆大混乱の米大統領選はブッシュ氏勝利

- ☆流行語
「IT革命」、「おっはー」、「『官』対『民』」、「Qちゃん」
- ☆流行歌
・TSUNAMI(サザンオールスターズ)
・桜坂(福山雅治)